

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(おたか静流チャリティライブ、宿泊研修高知報告、県職員 NPO 研修)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

183号/2018 Since 1984

「居場所探しの旅」

杉浦 良

「・・・どうせ・・・オレのことなんか・・・どうでもいいと・・・思っとるやろ!・・・オレの悪口言って・・・やめたるわ!・・・だれも・・・分かってくれへん・・・みんな・・・オレの事を馬鹿にしやがって!・・・」

Aさんの情動が高まり、ありったけの罵詈雑言が放たれます。

長い間、Aさんの独り言が続きました。

「・・・そう・・・オレは天才よ!・・・お前のことはよくわかっている・・・そう・・・オレがしゃべれば・・・みんなは・・・ひれ伏し・・・天に上る・・・嫌とは言わせないぜ・・・みんながオレを待っている・・・どうせオレはクソだ・・・みんなはオレを馬鹿にし・・・虫けらのように・・・足で踏みつぶす・・・」

「Aさん?今日の独り言の出来はどう?」

そんな声かけに、びっくりした顔で照れ臭そうに頭をかくAさんがいます。

Aさんの家庭は複雑で、親子ほど年の離れたお父さんとお母さんは離婚され、お母さんと二人暮らしになったAさんは塞ぎがちになります。お父さんには先妻との子供があり、当たり前のように母子2人暮らしは孤立しました。生活のためにお母さんは日雇い現場での賄いの仕事を始めました。Aさんは一人遊びが当たり前になりました。狭い安アパートでぶつぶつ独り言をつぶやくことで、時間が過ぎました。

Aさんには原因はよくわかりませんが手足の不随意運動と吃音がありました。ここに来た時には「・・・な・・・な・・・なまえ・・・は・・・A・・・A・・・で・・・です。と・・・としは・・・に・・・に・・・にじゅう・・・は・・・はち」と言葉が詰まり、自己表現がスムーズにいきません。空を見上げながら、時に下を見つめて、我に返ったように掃き掃除を始める彼がいました。そんな調子ですから仕事の道が開けません。本人いわく、仕方なくここに来たわけです。ブラブラするより、こ



県職員体験研修も8回目。累計55名の皆様が参加

こに毎日通うほうが、気が紛れる・・・そんなこともあったのでしょうか。ただ、どう作業に結び付けるか？手の不随意運動もあり、磨いたり拭いたりする作業はハードルが高すぎます。荷物を運ぶにも筋力もなく、歩行が不安定ということもあり、なかなか難しい。ただ本人の意識には・・・一人の人間としてオレは誰からも馬鹿にされたくないし・・・社会の一員として十分やっていける力もあるし・・・そんなオレを周りは認めてくれないし・・・社会も認めてくれない・・・そんな思いが詰まっていた。

なるべくAさんと話しながら作業をする日々が続きました。私は作業しながらの会話ですが、Aさんは会話することが仕事となります。一日2、30分程、今日一番腹が立ったこと、ムカついたこと、Aさんが嫌なこと、好きなこと、自分の母親に言いたいこと、義理の兄や姉への思い、自分の生き立ち、好きな音楽、好きな本など、Aさんの気が向くテーマでの雑談です。掃除にならなくてもホウキをもってウロウロしてもらうことで、時間を過ごしてもらう日々が続きました。

「・・・オ・オ・オレ・・・よ・よく・・・い・い・いじめ・・・ら・ら・られたんや・・・。ベ・ベ・んきょう・・・も・・・で・で・きん・・・か・か・かったし・・・。い・い・いつの・・・ま・ま・まにか・・・ど・ど・どもる・よ・よ・うに・・・な・なった・・・」

駅に捨ててあるスポーツ新聞が唯一の楽しみで、野球や相撲、特にプロレスには血沸き肉躍る衝撃が走った、そう話すAさん。肉体からほとばしる汗に、自分の限界をあっという間に超える瞬間を夢見る、そんな心象風景だったのでしょか。スポーツ新聞の写真を食い入るように眺め「そ・そ・そこだ！や・や・やっ・つけろ・・・！」と、一人語るAさんが目に浮かびます。ただ、そうした姿が、彼を孤立に追い込みます。

「せっかくだから、味噌汁でも作ってみる？ご飯も炊いてみる？」

そんな誘いにAさんは「・・・ほ・ほ・ほう・ち・ちょうは・・・あ・あ・あぶな・いと・も・も・もたせ・せて・くれん・か・か・かった・・・」とびっくりしています。

「包丁が使えなければ、はさみを使い、それでダメなら、切つてある野菜やカットわかめもあるし、それでもダメなら包丁の使えるメンバーに頼んだら？パウダーのダシ入れて、味噌を味噌こしに入れてスプーンでかき混ぜたら出来上がり。味見して、薄けりゃ味噌を追加して・・・」

そんな話に身を乗り出すAさんがいました。

「・・・この味噌汁うまいわ・・・！」

BとCさんが言います。ダシと味噌の入れ具合が良いのでしょうか、みんなに好評です。

時は流れ、Aさんの吃音は目立たなくなり、毎日昼食の味噌汁を作るAさんがいました。

「・・・オレ中途半端で・・・何にも出来んと思つたけど・・・ベロがあつたんや・・・このベロ（舌）・・・」

そして、気が付くと、独り言の回数が減り、自分が悪口を言われているという妄想からも少し距離が取れ、穏やかな表情が見られる回数が増えました。

「・・・この20年・・・自分の居場所探しをしてきたんやわ・・・」

そう語るAさんがいます。

(これは日々の活動のイメージを文章化したものです)

お知らせ

宿泊研修 2018 高知 報告

平成 30 年 11 月 12 日（火）～13 日（水）、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加促進事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 24 名が参加して、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を高知県で行いました。

今から 30 年程前、トラックにテントやシュラフ、調理道具等を載せ、身体障害者通所授産施設すずめ共同作業所の食堂に 1 泊させて頂き、テントを張って高知仁淀川でもう 1 泊。四国で最初に日本青年奉仕協会からの 1 年間ボランティアを受け入れたのが高知のすずめ共同作業所。太陽と緑の会が 2 番目ということで厚かましく見学させて頂きました。せっかく高知に来たのだから皿鉢料理でも？と尋ねると、当時の中原所長さんが「外で食べると高いし・・・なんなら市場で魚を仕入れてくるから・・・実費で私が作ります・・・」有難き言葉に甘えた記憶が蘇りました。

「・・・もう（最古参メンバーの）Nさんと私しか昔のすずめ共同作業所を知らないけれど、30 年経った今はどうなっているだろう？今の太陽と緑の会とはどう違う？ますます舵取りの難しい時代に、障害者福祉の方位は？」



そんな想いにホームページを検索していると、すずめ旭天神センター所長中原悟さんの名前を見つけました。

11 月 12 日午後、金毘羅タクシー 25 人マイクロバスと 9 人乗りワゴンの 2 台で、すずめ旭天神センターに到着。生活介護・就労継続 B 型事業所を見学させて頂きました。

「重度障害者の受け入れ先がないので・・・また 10 人定員のケアホーム建設を計画している・・・昨年脳溢血で倒れ・・・もう引退したいがなかなかそういう訳にはいかない・・・」

そんな愚痴も交えながらも「民間の役割は重要だ・・・先駆性と創造性と批判性の必要を思う・・・」と、30 数年前、身体障害者授産施設にはカウントできない知的障害者を実習生として受け入れ、指導員不足を 1 年間ボランティアで対処した、中原さんが蘇りました。

「・・・目の前の課題に必死で取り組んできたなら、すずめ三里ホーム、すずめ通所センター、すずめ燻製工房、すずめ旭天神センター、すずめのお宿」と・・・」

高知市内に細かく点在する拠点の数にびっくりしました。



その後、23年前には先駆的、最先端であったろう3階建てケア付きワンルームマンション・すずめ三里ホームを見学。1階から3階までの各1室を、わざわざ丁寧にを見せていただきました。障害に合わせて畳だったり、フローアだったりと内装も変えておられ、門限を作らず、食事も食堂で食べてよし自分で作ってもよし、お風呂も好きな時間に入れる等、自由度の高さには驚きでした。色々な刺激を受けた研修でした。

第9回おおたか静流 チャリティライブ

11月30日午後7時より、第9回おおたか静流チャリティライブを行いました。

お子様からご高齢の方まで、130人もの皆さんがお越し下さいました。おおたか静流さん、Keiju（中嶋恵樹）さん、Asu（ああす）さんの奏でる音楽が、般若院本堂を包みみました。

おおたかさんが当日太陽と緑の会に来られた時に買って下さったカワイのトイグランドピアノを、Asuさんがコンサートで演奏されました。ユニークなプレーに会場が湧き、笑いあり、しみりあり、そして感動ありの2時間が、あっという間に過ぎました。

チャリティライブ募金として10万9,000円、おおたか静流さん無償提供CD売上分として9,500円、総計11万8,500円を、NPO法人太陽と緑の会と(社福)ありのまま舎(障害者自立企画)(宮城県仙台市)の活動資金として活用させていただきます。

おおたか静流さん、Keijuさん、Asuさん、宮崎住職奥様はじめ関係者の皆さん、そして何より京都や松山からもお越し下さった皆様に、感謝申し上げます。

県職員NPO研修

今年も徳島県職員の皆様が「NPO法人短期体験研修」に参加して下さいました。職歴半年の若手新人から、それなりの経験を積んでおられる方まで男性6人女性3名、保健師、薬剤師、放射線技師、行政事務、社会教育主事、工業技術センターなど幅広い方々です。

プロジェクターを使った全体研修からスタートし、こちらの活動をメンバー達と一緒に体験して頂き、最後に質疑応答で締めくくるという2日間の研修ですが、メンバーやスタッフにとっても刺激的な2日間となりました。

メンバー同士のトラブルも体験し随分驚かれた方もありましたが、綺麗ごとではない生の現実をどう捉えるか?といったテーマを質疑応答に混ぜながらお話ができたことは、皆さんにとっても貴重な経験だったと思います。

最後の皆さんの応答から、充実した研修になったのではと、感じさせて頂きました。感謝と今後の活躍を祈念しております。



当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2018年9月11日～2018年12月5日§ (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

岡本、匿名、般若院募金箱、おおたか静流チャリティライブチャリティ、匿名(郵便振替口座)益田、中村、内原

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○西田、吉本、松岡、山下、竹尾、上野、榎本、竹林、久米、市原、西林、鈴木、中筋、富永、山口、山本、松本、菅生、笹盛、手塚、大野、豊田、新野、井川、射場、布袋、荒川、西、石川、吉崎、板倉、賀好、武岡、竹中、三谷、福原、篠原、武市、奥谷、高橋、吉田、檉本、川野、佐々木、大坪、四宮、大島、河崎、濱口、松田、福山、イワセ、山田、秋山、河原、梅田、岩脇、川口、深池、池本、谷、松内、熊本、長崎、筒井、東條、森本、橋本、後藤、石川、村賀、多田、堀川、松岡、森岡、元木、柳生、桂、加藤、松島、澤井、服部、丸山、月岡、大村、野村、西浜、藤原、山野、森田、河野、新居、玉井、伊澤、岡内、桑田、中平、横井、鳥取、小島、佐中、湯浅、榎本、百々、湊、際田、中峰、北島、岩丸、森、藤澤、尾崎、杉本、竹内、寺西、佐々木、片岡、清水、西、寺島、河村、藤野、大島、立石、細井、美馬、木下、橋谷、牧野、上田、つかやま、徳永、木藤、岩谷、瀬本、細川、鎌田、インマヌエル教会、吉岡、栗林、森田、木村、佐古小学校、中元、木内、川野、神下、坂東、藤岡、徳島私立八万幼稚園、羽山、西田、中平、麻植、山本、植木、尾形、多田、榎本、吉田、滝山、吉野、矢野、木下、種田、楠、谷口、清家、阿地、大津、四国大学学生ボランティア活動支援室、小島、升山○板野町○信田、長尾、福井、上田○鳴門市○福岡、陰、吉田、大西、田口、疋田、近藤○石井町○加藤、久米、菅沼、岡本、石本、佐藤、麻岡、福島、藤上、岡田、兼子、村賀、井上、浅野○吉野川市○花侍、中西、岩佐、渡部、太田、十川、山脇、田中、松本○藍住町○久米、野口、西村、三好、山田、片山、楠木、井上○小松島市○吉本、川井、横田、飛田○北島町○富永、ハギワラ、藤榮、南、濱口、大島、島田○海陽町○神戸○上板町○森、松井、原田○阿南市○上原、上田、松田、武市、福島、小谷○阿波市○大浦、高島○美馬市○廣川、井上○佐那河内村○橘、NPO法人 一村○松茂町○岩本○東京都○蒲田○京都府○井上、木村○福岡県○永峰○香川県○吉村○兵庫県○太田○長野県○吉川

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○野上、四宮、坂東、撫養、山口、柿本、アンベリール、園田、猪俣、武市ハウジング、夷谷、北野、後藤、黒川、三宅、横山、宮越、金山、真鍋、高橋、岡本、中西、月岡、久米川歯科、桑原、寺西、福家、あすかケアハウス、八巻、海部、戎、貝出、吉田、前川、川野、蔭山、中村、近藤、梶谷、本田、クリッププログラミングスクール、藤永、川野、豊田、篠原、新見、大櫛、久岡、山本、沖野、賀島、山下、七條、鎌田、吉井、島田、向井、松家、前田、堀尾、今津、美馬、浮津、杉本、バルネケ、亀谷、小川、増田、藤田、慈船寺、佐川、熊谷、遠藤、阿部、岩代、三好、山根、宮本、吉田、

武知、野田、梅本、田中、西林、藤永、大久保、大同生命ビル、坂東、井上、岡本、是安、森、宮崎、四宮、鶴野、福本、野上、坂東、今井、城福、応神小学校、本田、西谷、大村、蔵本、元木、大津、吉岡、貝出、近藤整形外科、中野、山根、上田、岩佐、富田、アンベ
 リール、小川、幸田、出口、平田、西、西村、横田、藤永、松浦、西木、安藤、川崎、土肥、平山、近藤、森、日浦、昼間、湯浅、雲財、ファッションファト、岡田、高橋、祖川、
 ホウセイホゴ、太陽堂薬局、阿部、江口、植田、宇治製薬、真鍋、本木、島本、中山、松家○小松島市○ツルダ薬局、渚クリニック(白川)、池田、鴻野、阿部、上村、桜井○吉野
 川市○ハリノ、林○鳴門市○岩田、村上、富崎、大島、久龍、西岡、○北島町○森本、佐藤、江口○藍住町○山本、(株)バルジユ 井原、斎藤○板野町○大西○石井町○戸井、佐中、石井薬局、中辻、太田、矢田○松茂町○平田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

旬のお野菜、お米(白米、玄米)を差し入れて下さった皆様、ありがとうございます。経済的に厳しい家庭のメンバーも多く、食材のご寄付は本当に有難いです。

いつも天然酵母パンを差し入れして下さる柴田様をはじめ、リンゴを送って下さった吉川様、缶ジュース、ペットボトル飲料、お菓子などを下さった皆様もありがとうございます。高知の研修旅行やメンバーへのプレゼントとして活用させて頂きました。

メッセージを添えてお品物を郵送して下さった皆様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。ワークキャンプや一年間ボランティアに参加された方で、今でも当会のことを思い出して送って下さる方がおられ、本当に嬉しく思います。頂いた品物は大切に活用させて頂きます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

いつも皆様から元気をいただいています。これからも身体に気を付けて、楽しみながら活動続けて下さい。
 -一度何かして

いつも物品を引取って頂きありがとうございます
 非に寒い所お元気で頑張ってください
 今年もよろしくお願いします

※梅雨に入りお暑い日が続いておますが、太陽の皆様お元気でしょか！
 いつもおかわり板を送って頂きありがとうございます。毎回お友達の言葉は
 ほんとにため息をつかして自分自身か、います。(相違わらず...です) →2日に
 以前、同封していただいたパンフレットの冊をたよりに、初渋谷上陸を息子2人
 して、やはり馬車で迷子になりながら、ようやく辿りつき...「そっちゃん、こちゃん
 を10数年ぶりに見ることができました。映画マニア風のおじ様、白髪のお母さん
 はおかりの中、9ヶ月連続の私達はちょっと浮いていましたか...等。ありがとうございます
 気持ちおかげで神楽谷へ新附は私に送料費として...
 がわら板
 できようとお願ひ致します

会員の皆様からのメッセージ

定休日及び冬期休業について

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。

年内は12月25日(火)まで活動します。

※12月24日(月・祝日)25日(火)は活動します(店舗もオープンします)

新年の活動は1月4日(金)からスタートの予定です。

12月26日(水) 定休日

12月27日(木)～1月3日(木) 冬期休業

1月9日(水)14日(月・祝日)15日(火)(1月8日の振替休み)16日(水)

1月22日(火)23日(水)30日(水)

2月5日(火)(2月13日の振替休み)6日(水)11日(月・祝日)12日(火)

※2月13日(水)は見学依頼のため臨時オープンします。

2月20日(水)26日(火)27日(水)

3月6日(水)12日(火)13日(水)20日(水)21日(木・祝日)26日(火)27日(水)

4月3日(水)9日(火)10日(水)17日(水)23日(火)24日(水)

4月29日(月・祝日)～5月5日(日)GW休み



県職員NPO
法人体験研修

様々なハンディ
を持ったメン
バーと一緒に
作業に取り
組んで頂きま
した。



編集後記～双方向の関係の中で

今年も残すところわずかとなりました。

火災による建物焼失から新館を再建して12年半。ここ数年でスタッフが入替わり、リユース品の販売収入も大きく減少する中で、「人も物も活かされる街づくり」をどう展開していくのか、次を見据えながらの模索が続いています。

市民の皆様がリユースの想いを込めて提供して下さった品物が、手間暇かけるこ

とによって、それを必要とする皆様のもとへつながっていく。小さなお子様から年配の方、諸外国の方まで集まってくる。

そこでは、70才のパート職員の方が社会経験を活かしながら22才のメンバーと作業を行い、もうすぐ69才のベテランメンバー(通所年数34年)が電話番号の作業を毎日5時間以上引き受ける。

40代、50代の中堅メンバーも、20代、30代の若手メンバーも、トラックに乗っての品物のお引き取り、お持ち込みの受

付、品物の仕分け、磨き・包装、値札付け、リユース商品の陳列、さらにはレジや自転車のパーツ交換まで、それぞれできること、任されたことを、時には市民の皆様からのお叱りも頂きながら担っていく。

ハンディのあるなしに関らず、自分の役割があり、他者からその存在を認められ、必要とされる日々日常によって、人は自分自身を支えていけるのかもしれない。

上から目線の指導や訓練だけで人を変えようとする努力は徒労に終わることが多く、計画通りに人が変わることもなかなかありません。理論や事例をそのまま個人に当てはめることには無理があります。

「この人はこういう人や」という固定観念をいい意味で裏切ってくれる瞬間に立ち会えた経験が、人の可能性というものを信じてみたくなるきっかけになる…。あきらめようとする思いに少しだけ待ったをかけてくれる…。

人は心のどこかで変わりたくないという気持ちも持ち合わせているのでしょう。人と人との双方向の関係の中で、変わらざるを得ない状況の中で初めて、時にはダイナミックに、そしてそれぞれがお互いに変わっていくのかもしれない。

公的資金に軸足を置いた運営が今日の福祉の主流です。行政からの給付金を目当てにした民間企業の参入も増えました。太陽と緑の会がイバラの道を歩み続けることに「なぜ？」の声もありますが、皆様からのご支援も頂きながら、限られた公的資金を有効に活用する持続可能な福祉の在り方を考えていければと思います。

本誌をもちまして新年のご挨拶に代えさせていただきます。新年もよろしくお願い致します。(文責:小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

ゆうメール押印・宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 福住

年会費:正会員 1万円 (総会議決権・事業決算報告)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名:特定非営利活動法人太陽と緑の会